

大学名	佛教大学
事業名	留学生トータルサポート事業 京（みやこ）グローバル「縁」コミュニティ～BUTSUDAI～
事業概要及び達成目標	○ 事業概要 本事業は、留学生を入学前から卒業後まで一貫して充実したサポートができるよう、総合支援体制を新たに構築するものである。京都を拠点とし、また仏教を基幹とする本学の特性を活かし、日本の文化・社会についての学びを提供する。この学びを支える体制として、留学生と日本人学生、また留学生同士の 2 つのコミュニティを柔軟に結びつける教職員による支援の仕組みを構築し、「京（みやこ）グローバル縁（えにし）コミュニティ～BUTSUDAI～」を作ることを目指す。 この取り組みが、本学の教育方針『「転識得智（てんじきとくち）」～学んだ知識を生きる力へ～』の実践形態となり、本学の留学生全員がグローバルな視点から京都の未来を築いていく人材育成を行いたいと考える。なお、具体的な取り組みとしては次の 3 点とする。 ■国内外の日本語教育機関との提携による留学生誘致の促進 ■正規課程留学生の学習・生活サポート体制の構築 ■留学生の就職支援の強化 ○ 令和 5 年度の取組概要 (1) 事業内容 ■国内外の日本語教育機関との提携による留学生誘致の促進 ・国内日本語教育機関への大学案内・入学試験要項およびオープンキャンパスの案内送付 ■正規課程留学生の学習・生活サポート体制の構築 ・日本人学生チューターによる学習・生活支援 ・留学生研修旅行（国際交流イベント） ■留学生の就職支援の強化 ・進路就職課と連携し進路状況調査の実施 ・進路就職課と連携し就職ガイダンスの実施 ・就職希望者の履歴書添削指導、面談実施

(2) 事業成果

■国内外の日本語教育機関との提携による留学生誘致の促進

日本全国の日本語教育機関への大学案内発送を行うにあたり、留学生向けに編集

したコンパクトガイドを作成し、留学生対象の入学試験要項とオープンキャンパス開催の案内も同封し送付した（全国 225 校）。その結果、日本語学校からの入学者が徐々に増加傾向にある。数値目標には届かなかったが、前年度に比べ志願者数が倍増した。

なお、本年度は諸般の事情により、学術交流協定校の新規開拓には至らなかったが、次年度以降にアジア圏を中心とした新規協定校の開拓を目指す。

■正規課程留学生の学習・生活サポート体制の構築

協定校からの交換留学生のみに提供していたチューター制度について、学部生 1 年生から 3 年生を対象として募集を行った結果、2023 年度春学期は留学生 8 名と日本人学生 22 名、秋学期は留学生 9 名と日本人学生 24 名のサポートが実現した。このサポートをきっかけに、留学生・日本人学生が仲良くなり、交流を深め、互いに刺激を与えることにつながっている。学部留学生は大学院への進学、日本人学生は海外への留学を考える大きなきっかけとなっている。

国際交流イベントとしては、「留学生研修旅行」を実施し、本年は淡路島・大塚国際美術館への日帰りツアーを実施した。留学生 19 名、日本人学生 7 名が参加し、充実した研修旅行となった。

■留学生の就職支援強化

進路就職課と連携し、進路希望調査を早期から実施することにより、就職希望者に対して適切な時期に必要な対策ができるよう支援を行った。対象者の履歴書添削および面談を行い、国際交流課が窓口となって就職活動についてアドバイスをを行った。その後、進路就職課に引き継ぐことにより利用率を上げるとともに、必要に応じて求人検索や面接練習等（キャリア・アドバイザー面談）について指導し、納得できる進路選択ができるよう促した。

また、進路就職課と連携し、留学生向け就職ガイダンスの実施や京都市をはじめとする外部主催の留学生向け就職ガイダンスについては、各団体等から案内がある度にメール等で周知し、参加を促した。なお、卒業後、他大学を含めた大学院への進学を希望する留学生や、日本での就職を希望する留学生も増えつつあることから、在留手続きをはじめとする卒業後の

サポートも進路就職課と協力しながら行う体制を強化している。

○ 達成目標（※上段が当初目標値、下段が実績値）

指標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
外国人留学生数	50	55	60	65	70
	48	40	45	35	
学術交流協定校数	20	22	24	26	28
	18	26	26	26	
入学説明会実績	4	6	8	10	12
	6	8	0	0	

リンク先

<https://www.bukkyo-u.ac.jp/>（佛教大学ホームページ）